

IATF 16949 内部監査|7.1.4 プロセスの運用に関する環境

IATF 16949 audits | How do I: Audit production process control of the work environment

<https://www.youtube.com/watch?v=Yr5c3QItjIM&t=11s>

【内部監査で見つかった問題点】

作業環境の温度制御：エリアスーパーバイザーは、作業環境の温度が夏場に40度近くまで上昇し、これが作業者の健康と製品の適合性に問題を引き起こしていると述べています。この問題は5S監査で特定されていますが、経営陣は投資を行う意志を示していません。これは、IATF16949:2016の7.1.4（プロセスの運用に関する環境）及び7.1.4.1（プロセスの運用に関する環境－補足）に違反しています。これらの条項では、組織は製品と製造プロセスのニーズに応じて、作業場を整頓し、清潔に保ち、適切な環境条件を維持する責任があると明記されています。

監査員の行動：監査員が5Sのトレーニングを提供することを提案していますが、これはIATF16949の規則（そしてISO19011の規則）に違反しています。監査員が監査中にコンサルティングサービスを提供することは厳しく禁じられています。

【内部監査で見つかった問題点の改善策】

作業環境の温度制御：経営陣は温度制御の問題について認識し、その解決策に対する投資を検討すべきです。これには、扇風機やエアコンなどの冷却装置の導入が含まれるかもしれません。また、組織は作業者の健康と製品の適合性を維持するための適切な環境条件を評価し、維持するプロセスを確立し、実施する必要があります。

監査員の行動：監査員は、自身の役割と責任を再確認し、監査中にコンサルティングサービスを提供しないことを理解する必要があります。また、監査員はIATF16949及びISO19011の規則を遵守することが重要です。

【ISO19011の観点からの改善策】

監査員の研修を強化することで、彼らの役割と責任、およびISO19011のガイドラインを確実に理解できるようにすることが求められます。また、監査の規範性を確保するため、監査プロセス全体について明確な方針と手順を再確認する必要があります。

箇条7.1.4 プロセスの運用に関する環境

①次のために必要な環境を明確にし提供し、維持する。

a)プロセスの運用

b)製品・サービスの適合

②注記 適切な環境は、次のような人的・物理的要因の組合せがありうる。

a)社会的要因（例 非差別的、半隠、非対立的）

b)心理的要因（例 ストレス軽減、燃え尽き症候群防止、心のケア）

c)物理的要因（例 気温・熱・温度・光・気流・衛生状態・騒音）

③これらの要因は、提供する製品・サービスによって異なる。

④注記 ISO45001（労働安全衛生マネジメントシステム、またはそれに相当するもの）への第三者認証は、この要求事項の要員安全の側面に対する組織の適合を実証するために用いてもよい。

箇条8.4.1.2 供給者選定プロセス



Confidential

ミツイ精密株式会社

箇条8.4.1.2 供給者選定プロセス



Confidential

ミツイ精密株式会社

内部監査-登場人物



Confidential

ミツイ精密株式会社



Paul : 進行



監査員



供給者品質マネージャー

Paul：このビデオでは、組織の製造プロセスを監査することに焦点を当てています。

Paul：また、このビデオでは製造業における組織の作業環境の管理に焦点を当てています。

Paul：監査員は関連するエリアスーパーバイザーに質問しています。

Paul：このビデオを見て、監査員がこの活動を効果的に監査しているかどうかを確認してください。

監査員：作業環境を管理するプロセスを説明していただけますか？

エリアスーパーバイザー：はい、それはスーパーバイザーが作業エリアで適切な作業環境を維持する責任です。我々は5S監査を実施し、それを我々の会社のテンプレートに記録しています。このエリアでの監査結果を示してもらえますか？

監査員：はい、これは我々の先週のオーダーです。これにより、我々は全体の5点中3点を得ました。我々の会社の目標は、すべての作業エリアで4.5点を得ることです。これは我々の経営チームによって設定されました。

エリアスーパーバイザー：はい、そうですね。

監査員：それでは、写真を撮らせていただきます。

エリアスーパーバイザー：はい、それで結構です。

監査員：ありがとうございます。それでは、他に取るべきものは何ですか？

エリアスーパーバイザー：このエリアでは特別な改善行動は実際にはありません。監査で特定された問題の1つは作業環境の温度です。ご覧のとおり、夏にはほとんど40度になります。我々は温度管理に大きな問題を抱えています。これを我々の5S監査にフィードバックしました。なぜなら、これは作業員の健康に影響を与えており、実際の問題となっていました。また、一部の製品では、温度の変動のために製品の適合性の問題を抱えていました。

監査員：管理部門はこの問題を認識していますか？

エリアスーパーバイザー：彼らは問題を認識していますが、現在、かなり厳しい状況にあります。一部の管理者は、このエリア内のファンやエアコン設備への投資をすることを躊躇しています。

監査員：その共有に感謝します。私は生産監査後、管理部門と連絡を取ります。5Sの監査チェックに基づいて、あなたが会社の理解を満たす証拠があるようです。

内部監査-現場会話

- 供給品質マネージャー** : それは我々のドイツの顧客がVDA 6.3のアプローチを使用することを求めているためです。我々はそれを非常に効果的なツールだと感じています。したがって、我々はすべての供給者の監査にこれを原則使用することに決定しました。
- 監査員** : VDA6.3の資格を持つのは誰ですか？
- 供給品質マネージャー** : 組織内には私を含む3人の資格を持つ監査員がいます。他の2人の名前を共有します。私たち3人全員がVDAの訓練を受けています。これは厳格な経験で、非常に厳しい5日間の資格取得プロセスでした。
- 監査員** : 供給者選定の文書化されたプロセスを見ることはできますか？
- 供給品質マネージャー** : 実際には、**我々は文書化されたプロセスを持っていません。VDA 6.3を参照するだけで我々の管理システム内に具体的に書かれたものは何也没有ありません。**
- 監査員** : わかりました、この点を**改善のための機会**として記録する必要があります。あなたが教えてくれたこと、見せてくれたことは一般的には大丈夫ですが、システムに破綻がないことを確認したいと思います。
- 供給品質マネージャー** : わかりました。

内部監査-現場会話（まとめ）

- Paul** : このビデオからは、組織が顧客固有の要求を理解し、VDA 6.3を使用した供給者監査を含む二次監査員の使用要求を実施していることが明らかでした。
- Paul** : 監査員は、組織が顧客固有の要求をどのように特定し、伝達し、実施しているかを確認するべきでした。
- Paul** : 監査員は、8.4.1.2の供給者選定で定義された要求が満たされていることを確認するために、オーディットトレイルを追うべきでした。
- Paul** : この要求では、組織が文書化されたプロセスを持つ必要があります。
- Paul** : この例では、彼らはすべての活動を行っていましたが、プロセスが文書化されていませんでした。
- Paul** : 監査員は間違ってこれを改善の機会として書き込むでしょう。
- Paul** : 改善の機会には、関連する標準の要求事項に準拠している状況でなければなりません。
- Paul** : この状況では、文書化されたプロセスが存在しなかったため、これは不適合でした。
- Paul** : 主な学習ポイントをまとめてみましょう。
- Paul** : IATF16949の特定の要求事項では、文書化されたプロセスが必要とされています。
- Paul** : これらは別々のプロセスである必要はなく、特定の形式である必要もありませんが、重要なポイントは、それらが組織の品質管理システムの範囲内で文書化されていなければならないということです。
- Paul** : 顧客固有の要求は、プロセスアプローチの監査に統合されるべきであり、独立して監査されるべきではありません。

主要な学習ポイント

IATF16949の特定の要求には、文書化されたプロセスが必要です。これらは別々のプロセスである必要はなく、特定の形式である必要もありませんが、品質管理システムの範囲内で文書化されていないことが重要です。

主要な学習ポイント

顧客固有の要求は、プロセスアプローチの監査に統合されるべきで、単独で監査されるべきではありません。

※1

供給品質マネージャーの発言からは、ISO9001の認証を持つ供給者に対しては、訪問することを基本的なポリシーとしているように見えます。これはISO9001が品質マネジメントシステムの国際標準であり、その認証を持つ企業は一定の品質管理能力を持っていると認められているため、その品質管理体制を確認するための訪問が必要であると考えられるからです。

一方で、IATF 16949の認証を持っていない場合にも訪問を行うとの発言があります。IATF 16949は、自動車産業の特性を反映した品質マネジメントシステムの国際規格で、ISO9001を基にしながらもより厳格な要求事項が含まれています。この認証を持っていない場合は、特に自動車産業に特化した要求事項に対する対応が不十分である可能性があるため、その評価のための訪問が必要であると考えられます。

したがって、供給品質マネージャーの発言からは、ISO9001の認証を持つか、IATF 16949の認証を持たないかのいずれかの理由で供給者訪問を決定すると理解できます。